

盲ろう者に関する実態調査報告書

(「目と耳の両方に障害のある方の生活状況に関する調査」結果より)

1 調査の概要

○実施者

社会福祉法人全国盲ろう者協会

(平成24年度障害者総合福祉推進事業：厚生労働省からの委託事業として実施)

○目的

盲ろう者の生活実態や社会参加の状況、生活上のニーズを把握することで、今後の盲ろう者支援の在り方を検討するための基礎資料を得ること。

○対象(基準日：平成25年1月1日)

視覚と聴覚の両方の障害の身体障害者手帳が交付されている者

→40都道府県(愛知県を含む)、17政令指定都市(名古屋市を含む)、40中核市(豊橋市・岡崎市・豊田市を含む)を通じ、対象者12,813人に対し、郵送による質問紙調査を実施。

→有効回答は2,744通(有効回答率：21.4%)

2 調査結果の概要

○福祉サービス利用頻度(「ほとんどない」、「まったくない」と回答があった割合)

	全国	愛知県
通訳・介助員派遣事業	76.5%	77.1%
手話通訳者要約筆記者派遣事業	88.9%	87.5%
移動支援同行援護事業	74.7%	66.7%
ホームヘルパー派遣事業	58.5%	58.4%
その他の福祉サービス	54.9%	64.6%

⇒「ほとんどない」、「まったくない」の回答が多かった。

○福祉サービス不利用理由

	全国	愛知県
知らない	11.4%	9.4%
自分でできる	21.6%	15.6%
家族がサポート	60.0%	62.5%
利用方法が分からない	15.4%	12.5%
手続きが面倒	8.6%	6.3%
その他	18.8%	21.9%

⇒「知らない」、「利用方法が分からない」者の割合(21.9%)は、全国の割合(26.8%)より低いものの、制度に対する一層の周知が必要。

※ 調査結果については、下記URLから閲覧できます。

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaihashukushi/cyousajigyoyou/sougoufukushi/h24_jigyoyou-02.html

厚生労働省
平成24年度 障害者総合福祉推進事業

盲ろう者に関する実態調査
報告書

【抜粋】

平成25年3月

～日本のヘレン・ケラーを支援する会®～
社会福祉法人 全国盲ろう者協会

第1部 視覚・聴覚の身体障害者手帳の交付状況についての調査

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

視覚と聴覚の両方の障害の身体障害者手帳を交付されている者の性別、年齢、障害の状態・程度等の状況を把握することで、今後の盲ろう者支援の在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の対象

47都道府県、20政令指定都市、41中核市の合計108箇所の障害福祉主管課。

3. 調査の基準日

平成24年10月30日

4. 調査の方法

郵送による質問紙調査を実施した。また、質問紙については、Microsoft Excel形式の電子データを社会福祉法人全国盲ろう者協会のウェブサイトよりダウンロードできるようにした。

回収については、①電子データ版の調査票を電子メールで送付、②電子データ版の調査票を印刷し郵送で返送、③同封の調査票に直接記入したものを郵送で返送、のいずれかの方法で行った。

調査票発送日は平成24年10月15日、調査票締切日平成24年12月7日であった。

5. 回収結果

45都道府県、20政令指定都市、41中核市の合計106箇所の障害福祉主管課より回答が得られた（回収率：98.1%）。なお、協力が得られた45都道府県のうち、1都1府7県については、身体障害者手帳交付事務の市区町村への権限移譲等の理由で、都府県として手帳・データベースを持っておらず、都府県から各市区町村に台帳・データベースからのデータの抽出を依頼してもらった。都府県から抽出を依頼した412市区町村のうち、協力が得られたのは380市区町村であった（回収率：92.2%）

6. 調査の項目

各自治体で「視覚と聴覚の両方の障害の身体障害者手帳を交付している者」について、①性別、②年齢、③視覚障害等級、④聴覚障害等級、⑤総合等級、を調査した。

7. 利用上の注意

百分率は、小数点以下第2位を四捨五入したため、総数・合計欄が100になっていても、内訳の合計が100%とならない場合がある。

第2章 結果の概要

1. 基本的属性

(1) 性別・年齢階級

■ 年齢階級と性別のクロス

「男性」41.8%、「女性」57.0%

- ・年齢階層は、男女ともに「80歳代」が最も多くなっている。
- ・20歳代までは「男性」の割合が高く、「30歳代」以降になると「女性」の割合が高くなっている。

表 1-2-1 年齢階級と性別のクロス

	総数	男性	女性	不明・無回答
総数	13952	5826	7953	173
	100.0%	41.8%	57.0%	1.2%
10歳未満	59	35	24	0
	100.0%	59.3%	40.7%	0.0%
10歳代	119	68	51	0
	100.0%	57.1%	42.9%	0.0%
20歳代	204	115	89	0
	100.0%	56.4%	43.6%	0.0%
30歳代	258	125	133	0
	100.0%	48.4%	51.6%	0.0%
40歳代	431	205	226	0
	100.0%	47.6%	52.4%	0.0%
50歳代	808	455	353	0
	100.0%	56.3%	43.7%	0.0%
60歳代	1617	791	826	0
	100.0%	48.9%	51.1%	0.0%
70歳代	3217	1366	1851	0
	100.0%	42.5%	57.5%	0.0%
80歳代	4201	1621	2580	0
	100.0%	38.6%	61.4%	0.0%
90歳以上	2520	908	1612	0
	100.0%	36.0%	64.0%	0.0%
不明・無回答	518	137	208	173
	100.0%	26.4%	40.2%	33.4%

■ 年齢階層 (3分類)

「老年人口 (65歳～)」が77.4%、「生産年齢人口 (15～65歳)」が18.1%、「年少人口 (～15歳)」が0.8%

表 1-2-2 年齢階層 (3分類)

	人数	割合
年少人口 (～15歳)	109	0.8%
生産年齢人口 (15～65)	2527	18.1%
老年人口 (65歳～)	10798	77.4%
不明・無回答	518	3.7%
合計	13952	100.0%

(2) 視覚障害等級

「1級」が28.0%、「2級」が27.3%

・「1級」の割合が28.0%と最も高く、次に高いのは「2級」の27.3%となっており、これらを合わせると5割を超えている。

表 1-2-3 視覚障害等級

	人数	割合
視覚1級	3906	28.0%
視覚2級	3815	27.3%
視覚3級	1176	8.4%
視覚4級	1083	7.8%
視覚5級	1536	11.0%
視覚6級	1380	9.9%
不明・無回答	1056	7.6%
合計	13952	100.0%

(3) 聴覚障害等級

「6級」が34.9%、「2級」が22.2%、「4級」が19.9%

・「1級」は1.6%となっており、「5級」に次いで低い。

表 1-2-4 聴覚障害等級

	人数	割合
聴覚1級	218	1.6%
聴覚2級	3098	22.2%
聴覚3級	1843	13.2%
聴覚4級	2777	19.9%
聴覚5級	77	0.6%
聴覚6級	4866	34.9%
不明・無回答	1073	7.7%
合計	13952	100.0%

(4) 総合障害等級

「1級」が49.5%、「2級」が25.6%

・「1級」が49.5%と最も高く、次いで「2級」が25.6%、これらを合わせると7割を超えている。

表 1-2-5 総合障害等級

	人数	割合
総合1級	6913	49.5%
総合2級	3571	25.6%
総合3級	1074	7.7%
総合4級	903	6.5%
総合5級	1020	7.3%
総合6級	18	0.1%
不明・無回答	453	3.2%
合計	13952	100.0%

(5) 視覚障害等級 - 聴覚障害等級

■ 視覚障害等級と聴覚障害等級のクロス

「聴覚6級」が最も多い

・どの視覚の等級においても「聴覚6級」を重複している者が最も多い割合となっており、「視覚1級・聴覚6級」は最も多く、次いで「視覚2級・聴覚6級」となっている。

表 1-2-6 視覚障害等級と聴覚障害等級のクロス

	総数	聴覚 1 級	聴覚 2 級	聴覚 3 級	聴覚 4 級	聴覚 5 級	聴覚 6 級	不明 ・ 無 回 答
総数	13952 100.0%	218 1.6%	3098 22.2%	1843 13.2%	2777 19.9%	77 0.6%	4866 34.9%	1073 7.7%
視覚1級	3906 100.0%	180 4.6%	975 25.0%	543 13.9%	786 20.1%	8 0.2%	1396 35.7%	18 0.5%
視覚2級	3815 100.0%	22 0.6%	986 25.8%	575 15.1%	805 21.1%	20 0.5%	1387 36.4%	20 0.5%
視覚3級	1176 100.0%	3 0.3%	285 24.2%	212 18.0%	274 23.3%	7 0.6%	392 33.3%	3 0.3%
視覚4級	1083 100.0%	3 0.3%	245 22.6%	153 14.1%	272 25.1%	10 0.9%	398 36.7%	2 0.2%
視覚5級	1536 100.0%	4 0.3%	349 22.7%	181 11.8%	311 20.2%	25 1.6%	657 42.8%	9 0.6%
視覚6級	1380 100.0%	6 0.4%	247 17.9%	174 12.6%	315 22.8%	7 0.5%	629 45.6%	2 0.1%
不明・無回答	1056 100.0%	0 0.0%	11 1.0%	5 0.5%	14 1.3%	0 0.0%	7 0.7%	1019 96.5%

第2部 目と耳の両方に障害のある方の生活状況に関する調査

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

盲ろう者の生活実態や社会参加の状況、生活上のニーズを把握することで、今後の盲ろう者支援の在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の対象

第1部の「視覚・聴覚の身体障害者手帳の交付状況についての調査」で把握した視覚と聴覚の両方の障害の身体障害者手帳が交付されている者

3. 調査の基準日

平成25年1月1日

4. 調査の方法

調査票の配布協力が得られた40都道府県、17政令指定都市、40中核市を通じ、対象者12,813人に対し郵送による質問紙調査を実施した。なお、調査協力者からの希望により、点字版、拡大文字版、電子データ版等の調査票を提供した。

回収については、郵送のほか、電子データ版を提供した調査協力者については、電子メールでの送付も可能とした。

協力自治体への調査票発送日は平成25年1月7日～11日、調査票締切日平成25年2月15日であった。

5. 回収結果

2,875通の回答が得られ（回収率：22.4%）、有効回答は2,744通であった（有効回答率：21.4%）。

6. 調査項目

調査項目は、別表のとおりである。

7. 利用上の注意

百分率は、小数点以下第2位を四捨五入したため、総数・合計欄が100になっていても、内訳の合計が100%とならない場合がある。

表 2-1-1 目と耳の両方に障害のある方の生活状況に関する調査項目

大項目		設問要約	設問
基本的属性	問1	回答者	このアンケートはどなたがお答えになっていますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問1-(1)	回答代行者	代わりに記入しているのはどなたですか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問2	年齢	あなた（視覚と聴覚の両方に障害のある方ご本人）の年齢をお答えください。
	問3	性別	性別について、あてはまる方に○をしてください。
住まい	問4	都道府県	お住まいの都道府県をお答えください。
	問5	住居の種類	お住まいの種類について、あてはまるもの1つに○をしてください。
	問6	同居者[複]	誰と一緒に暮らしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。※グループホーム・ケアホームや入所型施設等で暮らしている人は回答する必要はありません。
	問7	暮らしの希望	今後、どのように暮らしたいと考えていますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
生活のしづらさ	問8	生活しづらさの発生年齢	日常生活を送る上で、目と耳の両方の障害による生活のしづらさが生じはじめた（生活のしづらさがあると気づいた）のは何歳ごろですか。※日常生活の中で、ご自身が不自由と感じた年齢、又は家族が気づいた年齢を記入してください。
	問9	生活しづらさの変化	日常生活を送る上で、目と耳の両方の障害による生活のしづらさが生じはじめた（生活のしづらさがあると気づいた）後、生活のしづらさはどのように変化していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問10	生活しづらさの頻度	おおむねこの6ヶ月（平成24年7月1日～平成24年12月31日）の間に、目と耳の両方の障害による日常生活を送る上での生活のしづらさはどの程度生じましたか。あてはまるもの1つに○をしてください。※障害に関係のない生活のしづらさ（風邪やけが等の一時的なもの）は含めないでください。
視覚障害	問11	視覚障害の発症年齢	目（視覚）の障害が生じはじめたのは何歳ごろですか。
	問12	視覚障害の進行	目（視覚）の障害が生じはじめてから、障害の状態は進行（悪化）していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問13	視力の状態	現在の視力の状態について、あてはまるもの1つに○をしてください。※眼鏡などを使用している場合は、使用している状態で答えてください。
	問13-(1)	視野の状態	現在の視野の状態について、あてはまるもの1つに○をしてください。
聴覚障害	問14	視覚障害等級	身体障害者手帳に記載してある視覚障害の等級をお答えください。
	問15	聴覚障害の発症年齢	耳（聴覚）の障害が生じはじめたのは何歳ごろですか。
	問16	聴覚障害の進行	耳（聴覚）の障害が生じはじめてから、聞こえの状態は進行（悪化）していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問17	聴力の状態	現在の耳（聴覚）の状態について、あてはまるもの1つに○をしてください。※補聴器などを使用している場合は、使用している状態で答えてください。
障害全般	問18	聴覚障害等級	あなたの身体障害者手帳に記載してある聴覚障害の等級をお答えください。
	問19	視覚・聴覚以外の障害の有無	視覚と聴覚以外に障害はありますか。いずれか1つに○をしてください。
	問19-(1)	視覚・聴覚以外の障害の種類・等級	（視覚と聴覚以外に障害のある方）該当する障害の種類に○をして、障害者手帳に記載されている等級をお答えください。
	問20	総合等級	あなたの身体障害者手帳に記載してある総合等級（すべての障害を合わせた等級）をお答えください。
	問21	障害程度区分認定	障害者自立支援法の障害程度区分の認定を受けていますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
コミュニケーション	問21-(1)	障害程度区分	（障害程度区分の認定を受けている方）障害程度区分はいくつですか。
	問22	可能な発信コミュニケーション方法	あなたの言葉を相手に伝えるとき（話すとき）に使っているコミュニケーション方法について、あてはまるものすべてに○をしてください。
	問23	最も円滑な発信コミュニケーション方法[複]	問22でお答えになった方法のうち、最もスムーズにコミュニケーションできる方法について、あてはまるもの1つに○をしてください。
	問24	独力で発信能力	初めて会う人（手話や指文字、点字などを知らない健常者）に、自分の言いたいことを、おひとりでのどの程度、伝えることができますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問25	可能な受信コミュニケーション方法	あなたが相手の言葉を受け取る時（聞くとき）に使っているコミュニケーション方法について、あてはまるものすべてに○をしてください。
	問26	最も円滑な受信コミュニケーション方法	問25でお答えになった方法のうち、最もスムーズにコミュニケーションできる方法について、あてはまるもの1つに○をしてください。
問27	独力で受信能力	初めて会う人（手話や指文字、点字などを知らない健常者）の言いたいことを、おひとりでのどの程度、理解することができますか。あてはまるもの1つに○をしてください。	

コミュニケーション	問28	会話頻度	おおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の間にどの程度、他者と会話をしましたか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問29	相手別会話頻度	あなたはおおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の間に、次にあげる方と、どの程度会話をしましたか。それぞれについて、「よく会話する」を“1”、「ときどき会話する」を“2”、「まったく会話しない」を“3”として、あてはまる番号1つを記入してください。※まったく会話していない方は、回答する必要はありません。
外出	問30	単独移動能力	他者や盲導犬などの支援を受けずに、おひとりでのどの程度、移動することができますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問31	外出頻度	おおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の間に、どの程度外出しましたか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問32	目的別外出頻度	おおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）について、「よくある」を“1”、「ときどきある」を“2”、「まったくない」を“3”として、あてはまる番号1つを記入してください。※まったく外出していない方は、回答する必要はありません。
	問33	相手別外出頻度	あなたはおおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の間に、次にあげる方と、どの程度、一緒に外出をしましたか。それぞれについて、「よく外出する」を“1”、「ときどき外出する」を“2”、「まったく外出しない」を“3”として、あてはまる番号1つを記入してください。※まったく外出していない方は、回答する必要はありません。
情報入手	問34	使用文字[複]	文章を読むときに使うことのできる方法について、あてはまるものすべてに○をしてください。
	問35	独力での情報入手能力	他者の支援を受けずに、おひとりでのどの程度、ご自分の関心のあるニュースなどの情報を得ることができますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問36	情報入手頻度	おおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の間に、どの程度、ご自分の関心のあるニュースなどの情報を得ましたか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問37	手段別情報入手頻度	おおむねこの1年（平成24年1月1日～平成24年12月31日）の間に、次にあげるところから、どの程度、ご自分の関心のあるニュースなどの情報を得ていますか。それぞれについて、「よく情報を得る」を“1”、「ときどき情報を得る」を“2”、「まったく情報を得ない」を“3”として、あてはまる番号1つを記入してください。※まったく情報を得ていない方は、回答する必要はありません。
福祉サービス	問38	福祉サービス利用有無	あなたは日常生活を送るうえで、人的支援による福祉サービスを利用していますか。いずれか1つに○をしてください。
	問38-(1)	福祉サービス利用頻度	以下にあげる人的支援による福祉サービスそれぞれについて、受けている回数にもっとも近いもの1つに○をしてください。
	問38-(2)	福祉サービス不利用理由[複]	人的支援による福祉サービスを利用していない理由について、あてはまるものすべてに○をしてください。
	問39	福祉サービス利用希望有無	あなたは日常生活を送るうえで、今後、人的支援による福祉サービスの利用を希望しますか。いずれか1つに○をしてください。
	問39-(1)	福祉サービス利用希望頻度	以下にあげる人的支援による福祉サービスそれぞれについて、今後、利用を希望する回数にもっとも近いもの1つに○をしてください。
	問40	介護保険サービス利用有無	介護保険法によるサービスを利用していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問40-(1)		要支援・要介護度はいくつですか。該当する要支援・要介護度1つに○をしてください。
	問41	補装具・日常生活用具の支給給付有無	あなたは行政から補装具や日常生活用具の支給・給付を受けていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。
問41-(1)	給付・支給済の補装具・日常生活用具[複]	次のうち、支給・給付を受けている補装具や日常生活用具すべてに○をしてください。	
日中活動の状況と希望	問42	日中の過ごし方	平日の日中は、おもにどのように過ごしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。
	問43	日中の過ごし方の変化の希望有無	平日の日中はどのように過ごしたいと考えていますか。いずれか1つに○をしてください。
	問43-(1)	希望する日中の過ごし方	(今までは違う平日日中の過ごし方をしたい方) どのように過ごしたいですか。あてはまるものすべてに○をしてください。
生活全般の困難・ニーズ	問44	生活満足度	あなたは現在の生活に満足していますか。あてはまるもの1つに○をしてください。
	問45	生活全般の困難・ニーズ	あなたが生活をしている中で困っていることや必要だと感じる支援があれば、ご自由にお書きください。

第2章 結果の概要

1. 調査協力者の基本的属性

(1) 年齢（階級・平均）、性別

回答者総計 2744 人中、男性 1205 人 (43.9%)、女性 1539 人 (56.1%)

- ・男性の割合は 60 歳代 48.8%、70 歳代 43.9%、80 歳代 42.0%、90 歳以上 31.9%と徐々に低くなっている。
- ・女性の割合は 60 歳代 51.2%、70 歳代 56.1%、80 歳代 58.0%、90 歳以上 68.1%と徐々に高くなっている。

表 2-2-1 年齢階級と性別のクロス

	総計	男性	女性
総計	2744 100.0%	1205 43.9%	1539 56.1%
10歳未満	24 100.0%	12 50.0%	12 50.0%
10歳代	30 100.0%	18 60.0%	12 40.0%
20歳代	51 100.0%	26 51.0%	25 49.0%
30歳代	76 100.0%	34 44.7%	42 55.3%
40歳代	126 100.0%	59 46.8%	67 53.2%
50歳代	226 100.0%	113 50.0%	113 50.0%
60歳代	426 100.0%	208 48.8%	218 51.2%
70歳代	724 100.0%	318 43.9%	406 56.1%
80歳代	779 100.0%	327 42.0%	452 58.0%
90歳以上	282 100.0%	90 31.9%	192 68.1%

(2) 視聴覚障害組み合わせ (等級)

■ 視覚障害等級と聴覚障害等級のクロス

「視覚2級・聴覚2級」が最も多く約350人

・次いで「視覚1級・聴覚2級」が約300人となっている。

表 2-2-2a 視覚障害等級と聴覚障害等級のクロス

	総計	聴覚1級	聴覚2級	聴覚3級	聴覚4級	聴覚5級	聴覚6級	無回答
総計	2744 100.0%	237 8.6%	813 29.6%	339 12.4%	416 15.2%	57 2.1%	611 22.3%	271 9.9%
視覚1級	1013 100.0%	199 19.6%	299 29.5%	88 8.7%	111 11.0%	8 0.8%	169 16.7%	139 13.7%
視覚2級	785 100.0%	13 1.7%	349 44.5%	83 10.6%	113 14.4%	3 0.4%	187 23.8%	37 4.7%
視覚3級	226 100.0%	6 2.7%	48 21.2%	92 40.7%	29 12.8%	1 0.4%	45 19.9%	5 2.2%
視覚4級	174 100.0%	0 0.0%	30 17.2%	21 12.1%	76 43.7%	1 0.6%	41 23.6%	5 2.9%
視覚5級	241 100.0%	4 1.7%	35 14.5%	21 8.7%	44 18.3%	38 15.8%	92 38.2%	7 2.9%
視覚6級	120 100.0%	1 0.8%	17 14.2%	12 10.0%	31 25.8%	2 1.7%	56 46.7%	1 0.8%
無回答	185 100.0%	14 7.6%	35 18.9%	22 11.9%	12 6.5%	4 2.2%	21 11.4%	77 41.6%

■ 視聴覚障害組み合わせ (等級)

「視覚1・2級・聴覚1・2級」が最も高く31.3%

・次いで、「視覚1・2級・聴覚3-6級」27.8%、「視覚3-6級・聴覚3-6級」21.9%と続く

・最も低い割合は「視覚3-6級・聴覚1・2級」5.1%となっている。

表 2-2-2b 視聴覚障害組み合わせ (等級)

	人数	割合
視覚1・2級 聴覚1・2級	860	31.3%
視覚1・2級 聴覚3-6級	762	27.8%
視覚3-6級 聴覚1・2級	141	5.1%
視覚3-6級 聴覚3-6級	602	21.9%
無回答	379	13.8%
合計	2744	100.0%

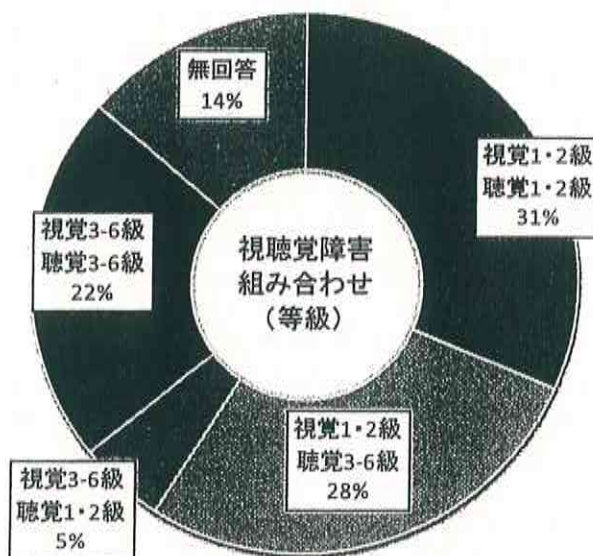


図 2-2-1 視聴覚障害組み合わせ (等級)

(3) 視聴覚障害組み合わせ (状態・程度)

■ 視力の状態と聴覚の状態のクロス

「耳元で大きな話し声なら聞き取れる」が最も高く 40.2%

- ・「話し声をまったく聞き取れない」の中では、「光を感じない」31.6%、「明るい光は見える」32.3%と高い割合となっている。
- ・「大きな文字を読む」の中では、「少し離れても大きな話し声なら聞き取れる」35.2%、「耳元で大きな話し声なら聞き取れる」34.1%、「小さな文字を読む」の中では「少し離れても大きな話し声なら聞き取れる」44.8%、「話し声をまったく聞き取れない」24.4%となっている。

表 2-2-3a 視力の状態と聴覚の状態のクロス

	総計	聞き取れない	耳元で大きな話し声なら聞き取れる	少し離れた大きな話し声なら聞き取れる	少し離れた普通の話し声なら聞き取れる	無回答
総計	2744 100.0%	701 25.5%	1104 40.2%	733 26.7%	148 5.4%	58 2.1%
光も感じない	488 100.0%	154 31.6%	210 43.0%	89 18.2%	21 4.3%	14 2.9%
明るい光は見える	498 100.0%	161 32.3%	218 43.8%	91 18.3%	16 3.2%	12 2.4%
目の前で手を動かせばわかる	355 100.0%	77 21.7%	168 47.3%	79 22.3%	23 6.5%	8 2.3%
目の前の指の本数が数えられる	266 100.0%	45 16.9%	134 50.4%	72 27.1%	9 3.4%	6 2.3%
大きな文字を読む	779 100.0%	169 21.7%	266 34.1%	274 35.2%	55 7.1%	15 1.9%
小さな文字を読む	172 100.0%	42 24.4%	34 19.8%	77 44.8%	16 9.3%	3 1.7%
無回答	186 100.0%	53 28.5%	74 39.8%	51 27.4%	8 4.3%	0 0.0%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）

「全盲難聴」が最も高く41.2%。

- ・次いで、「弱視難聴」26.3%、「全盲ろう」15.9%と続いている。
- ・最も低い割合は「弱視ろう」7.7%となっている。

表 2-2-3b 視覚障害組み合わせ（状態）

	人数	割合
全盲ろう	437	15.9%
全盲難聴	1130	41.2%
弱視ろう	211	7.7%
弱視難聴	722	26.3%
無回答	244	8.9%
合計	2744	100.0%

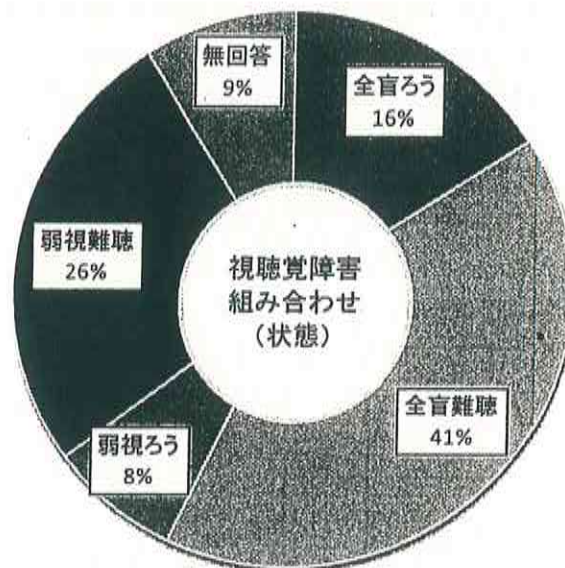


図 2-2-2 視覚障害組み合わせ（状態）

（注）視聴覚障害の組み合わせについては、「視力の状態」と「聴覚の状態」を、以下のように操作的に定義をして、組み合わせたものである。

- ・全盲：「光も感じない」～「目の前の指の本数がわかる」
- ・弱視：「大きな文字を読める」～「小さな文字を読める」
- ・ろう：「話し声を全く聞き取れない」
- ・難聴：「耳元で大きな話声なら聞き取れる」～「少し離れても普通の大きさの声を聞きとれる」

■ 最も円滑な発信コミュニケーション方法

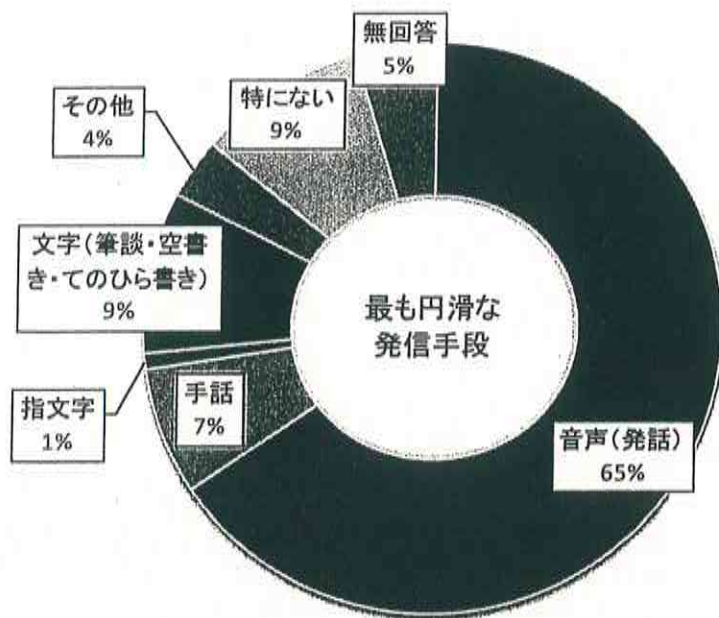
「音声（発話）」が最も高く 65.4%。

- ・次いで、「文字（筆談・空書き・てのひら書き）」9.0%、「手話」7.2%と続く。
- ・「指文字」が最も低く 0.9%となっている。

表 2-2-5b 最も円滑な発信コミュニケーション方法

	人数	割合
音声（発話）	1795	65.4%
手話	198	7.2%
指文字	25	0.9%
文字（筆談・空書き・ てのひら書き）	248	9.0%
その他	95	3.5%
特にない	258	9.4%
無回答	125	4.6%
合計	2744	100.0%

図 2-2-5 最も円滑な発信コミュニケーション方法



■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法

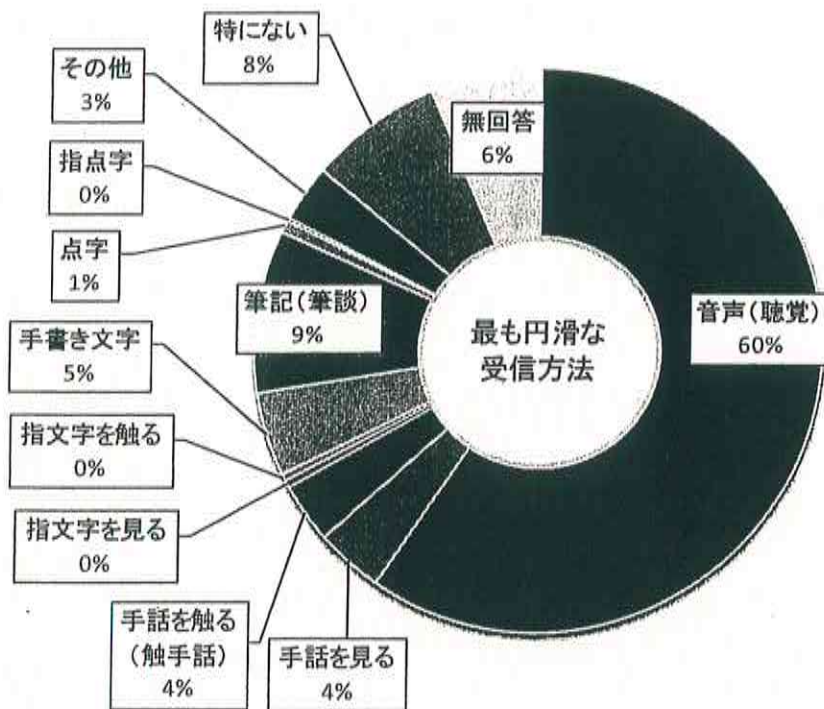
「音声（聴覚）」が最も高く 59.5%。

- ・次いで、「筆記（筆談）」9.4%、「手書き文字」4.8%と続く。
- ・指文字が最も低く 0.2%となっている。

表 2-2-6b 最も円滑な受信コミュニケーション方法

	人数	割合
音声（聴覚）	1634	59.5%
手話を見る	106	3.9%
手話を触る（触手話）	95	3.5%
指文字を見る	11	0.4%
指文字を触る	11	0.4%
手書き文字	132	4.8%
筆記（筆談）	258	9.4%
点字	20	0.7%
指点字	5	0.2%
その他	89	3.2%
特にない	209	7.6%
無回答	174	6.3%
合計	2744	100.0%

図 2-2-7 最も円滑な受信コミュニケーション方法



8. コミュニケーション

(1) 可能な発信コミュニケーション方法 (複数回答)

■ 年齢階級別と可能な発信コミュニケーション方法のクロス

「音声」は全ての年齢階級において50%以上の割合となっており、「80歳代」「90歳以上」では約80%

- ・年齢階級「10歳未満」から「60歳代」において、「手話」は約20%から約35%、「指文字」は約10%から約25%となっている。
- ・「文字」の中では、「20歳代」35.3%、「30歳代」44.7%、「40歳代」34.9%と上位3位を占める。

表 2-2-31a 年齢階級別と可能な発信コミュニケーション方法のクロス

	回答者総数	音声	手話	指文字	文字	その他	特 に ない
回答者総数	2714	2006 73.9%	345 12.7%	193 7.1%	587 21.6%	173 6.4%	257 9.5%
10歳未満	24	13 54.2%	6 25.0%	6 25.0%	3 12.5%	10 41.7%	2 8.3%
10歳代	30	14 46.7%	10 33.3%	11 36.7%	4 13.3%	10 33.3%	3 10.0%
20歳代	51	30 58.8%	18 35.3%	14 27.5%	18 35.3%	17 33.3%	6 11.8%
30歳代	76	45 59.2%	26 34.2%	17 22.4%	34 44.7%	16 21.1%	6 7.9%
40歳代	126	73 57.9%	34 27.0%	21 16.7%	44 34.9%	11 8.7%	15 11.9%
50歳代	224	137 61.2%	82 36.6%	33 14.7%	73 32.6%	18 8.0%	15 6.7%
60歳代	423	287 67.8%	88 20.8%	43 10.2%	118 27.9%	28 6.6%	40 9.5%
70歳代	715	547 76.5%	64 9.0%	35 4.9%	147 20.6%	26 3.6%	69 9.7%
80歳代	765	632 82.6%	15 2.0%	11 1.4%	104 13.6%	25 3.3%	80 10.5%
90歳以上	280	228 81.4%	2 0.7%	2 0.7%	42 15.0%	12 4.3%	21 7.5%

■ 視聴覚障害等級組み合わせ（等級）と可能な発信コミュニケーション方法のクロス

表 2-2-31b 視聴覚障害等級組み合わせ（等級）と可能な発信コミュニケーション方法のクロス

	回答者総数	音声	手話	指文字	文字	その他	特 に ない
回答者総数	2337	1717 73.5%	315 13.5%	172 7.4%	505 21.6%	157 6.7%	222 9.5%
視覚1・2級 聴覚1・2級	850	510 60.0%	212 24.9%	105 12.4%	264 31.1%	74 8.7%	67 7.9%
視覚1・2級 聴覚3-6級	754	651 86.3%	32 4.2%	23 3.1%	85 11.3%	45 6.0%	66 8.8%
視覚3-6級 聴覚1・2級	141	77 54.6%	55 39.0%	29 20.6%	63 44.7%	12 8.5%	5 3.5%
視覚3-6級 聴覚3-6級	592	479 80.9%	16 2.7%	15 2.5%	93 15.7%	26 4.4%	84 14.2%

■ 視聴覚障害等級組み合わせ（状態）と可能な発信コミュニケーション方法のクロス

表 2-2-31c 視聴覚障害等級組み合わせ（状態）と可能な発信コミュニケーション方法のクロス

	回答者総数	音声	手話	指文字	文字	その他	特 に ない
回答者総数	2475	1835 74.1%	311 12.6%	180 7.3%	531 21.5%	161 6.5%	227 9.2%
全盲ろう	435	149 34.3%	141 32.4%	74 17.0%	184 42.3%	69 15.9%	41 9.4%
全盲難聴	1120	993 88.7%	38 3.4%	30 2.7%	89 7.9%	54 4.8%	87 7.8%
弱視ろう	210	100 47.6%	95 45.2%	55 26.2%	131 62.4%	21 10.0%	9 4.3%
弱視難聴	710	593 83.5%	37 5.2%	21 3.0%	127 17.9%	17 2.4%	90 12.7%

(2) 最も円滑な発信コミュニケーション方法

■ 年齢階級と最も円滑な発信コミュニケーション方法のクロス

最も円滑な発信コミュニケーション方法の中で「音声（発話）」の割合が最も高く 65.4%

- ・全ての年齢階級において「10歳未満」の29.2%を除き、他の最も円滑な発信コミュニケーション方法と比べて「音声（発話）」が最も高い割合となっている。
- ・「音声（発話）」の中では「40歳代」から50%以上となっており、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっている。
- ・「手話」において「10歳未満」から「60歳代」までは約10%から25%となっており、「70歳代」以上は割合が低くなる。

表 2-2-32a 年齢階級と最も円滑な発信コミュニケーション方法のクロス

	総数	音声 (発話)	手話	指文字	文字 (筆談・空書 き・ての ひら書き)	その他	特 に な い	無 回 答
総数	2744	1795	198	25	248	95	258	125
	100.0%	65.4%	7.2%	0.9%	9.0%	3.5%	9.4%	4.6%
10歳未満	24	7	3	0	0	7	2	5
	100.0%	29.2%	12.5%	0.0%	0.0%	29.2%	8.3%	20.8%
10歳代	30	12	5	2	0	6	3	2
	100.0%	40.0%	16.7%	6.7%	0.0%	20.0%	10.0%	6.7%
20歳代	51	15	7	2	6	11	7	3
	100.0%	29.4%	13.7%	3.9%	11.8%	21.6%	13.7%	5.9%
30歳代	76	34	12	0	10	9	8	3
	100.0%	44.7%	15.8%	0.0%	13.2%	11.8%	10.5%	3.9%
40歳代	126	63	17	4	14	5	15	8
	100.0%	50.0%	13.5%	3.2%	11.1%	4.0%	11.9%	6.3%
50歳代	226	113	57	1	22	7	16	10
	100.0%	50.0%	25.2%	0.4%	9.7%	3.1%	7.1%	4.4%
60歳代	426	247	51	3	50	16	39	20
	100.0%	58.0%	12.0%	0.7%	11.7%	3.8%	9.2%	4.7%
70歳代	724	495	38	9	65	14	67	36
	100.0%	68.4%	5.2%	1.2%	9.0%	1.9%	9.3%	5.0%
80歳代	779	591	7	3	52	13	80	33
	100.0%	75.9%	0.9%	0.4%	6.7%	1.7%	10.3%	4.2%
90歳以上	282	218	1	1	29	7	21	5
	100.0%	77.3%	0.4%	0.4%	10.3%	2.5%	7.4%	1.8%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と最も円滑な発信コミュニケーション方法のクロス

「視覚1・2級、聴覚3-6級」と「音声」の組み合わせが最も高く80.6%となっており、次いで、「視覚3-6級、聴覚3-6級」と「音声」の組み合わせが71.9%

- ・全ての視聴覚障害組み合わせ等級において、「音声」の割合が他の視聴覚障害組み合わせと比べて約40%から80%と高い割合となっている。
- ・「手話」の中では「視覚1・2級、聴覚3-6級」26.2%が最も高く、次いで、「視覚1・2級、聴覚1・2級」15.9%となっている。
- ・「文字（筆談・空書き。てのひら書き）」の中では「視覚3-6級、聴覚1・2級」が最も高く17.0%となっており、次いで、「視覚1・2級、聴覚1・2級」13.3%となっている。

表 2-2-32b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と最も円滑な発信コミュニケーション方法のクロス

	総数	音声 (発話)	手話	指文字	文字 (筆談・空書き てのひら書き)	その他	特 に ない	無 回 答
総数	2744	1795	198	25	248	95	258	125
	100.0%	65.4%	7.2%	0.9%	9.0%	3.5%	9.4%	4.6%
視覚1・2級	860	441	137	14	114	42	68	44
聴覚1・2級	100.0%	51.3%	15.9%	1.6%	13.3%	4.9%	7.9%	5.1%
視覚1・2級	762	614	4	3	29	22	66	24
聴覚3-6級	100.0%	80.6%	0.5%	0.4%	3.8%	2.9%	8.7%	3.1%
視覚3-6級	141	57	37	0	24	8	5	10
聴覚1・2級	100.0%	40.4%	26.2%	0.0%	17.0%	5.7%	3.5%	7.1%
視覚3-6級	602	433	4	2	40	13	84	26
聴覚3-6級	100.0%	71.9%	0.7%	0.3%	6.6%	2.2%	14.0%	4.3%
無回答	379	250	16	6	41	10	35	21
	100.0%	66.0%	4.2%	1.6%	10.8%	2.6%	9.2%	5.5%

■ 最も円滑な受信コミュニケーション方法と最も円滑な発信コミュニケーション方法のクロス

「音声（聴覚）」と「音声（発話）」の組み合わせが最も高く 93.1%となっており、次いで、「点字・指文字」と「音声（発話）」の組み合わせが 56.0%

- ・「手話」の中では、「手話を見る」82.1%が最も高く、次いで「手話を触る（触手話）」75.8%となっている。
- ・「指文字」の中では、「指文字を触る」72.7%が最も高く、次いで「指文字を見る」27.3%となっている。
- ・「文字（筆談・空書き・てのひら書き）」の中では、「筆記（筆談）」が最も高く 53.9%となっており、次いで「手書き文字」53.8%となっている。

表 2-2-32e 最も円滑な受信コミュニケーション方法と最も円滑な発信コミュニケーション方法のクロス

	総数	音声 (発話)	手話	指文字	き文字 (筆談・空書き)	その他	特 に ない	無 回 答
総数	2744	1795	198	25	248	95	258	125
	100.0%	65.4%	7.2%	0.9%	9.0%	3.5%	9.4%	4.6%
音声（聴覚）	1634	1522	2	0	9	11	51	39
	100.0%	93.1%	0.1%	0.0%	0.6%	0.7%	3.1%	2.4%
手話を見る	106	9	87	1	2	0	2	5
	100.0%	8.5%	82.1%	0.9%	1.9%	0.0%	1.9%	4.7%
手話を触る (触手話)	95	8	72	0	3	4	1	7
	100.0%	8.4%	75.8%	0.0%	3.2%	4.2%	1.1%	7.4%
指文字を見る	11	6	1	3	1	0	0	0
	100.0%	54.5%	9.1%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
指文字を触る	11	3	0	8	0	0	0	0
	100.0%	27.3%	0.0%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
手書き文字	132	31	10	10	71	4	2	4
	100.0%	23.5%	7.6%	7.6%	53.8%	3.0%	1.5%	3.0%
筆記（筆談）	258	82	5	1	139	4	7	20
	100.0%	31.8%	1.9%	0.4%	53.9%	1.6%	2.7%	7.8%
点字・指文字	25	14	1	0	3	4	2	1
	100.0%	56.0%	4.0%	0.0%	12.0%	16.0%	8.0%	4.0%
その他	89	20	1	1	3	54	6	4
	100.0%	22.5%	1.1%	1.1%	3.4%	60.7%	6.7%	4.5%
特にな い	209	27	1	0	1	7	170	3
	100.0%	12.9%	0.5%	0.0%	0.5%	3.3%	81.3%	1.4%
無回答	174	73	18	1	16	7	17	42
	100.0%	42.0%	10.3%	0.6%	9.2%	4.0%	9.8%	24.1%

9. 外出

(1) 単独移動能力

■ 年齢階級と移動能力のクロス

移動能力では、「自宅内の移動はできる」の割合が最も高く 37.0%

- ・「自宅内の移動はできない」では、「10歳未満」29.2%から「40歳代」3.2%にかけて年齢階級が上がるにつれて割合は低くなり、「50歳代」7.1%から「90歳以上」29.4%にかけて年齢階級が上がるにつれて割合が高くなる。
- ・「自宅周辺の歩行はできる」では、「20歳代」と「40歳代」の10%未満を除き、全ての年齢階級において約10%から20%の割合となっている。
- ・「交通機関を利用して知っているところに外出できる」では、「30歳代」から「50歳代」の割合が約30%で上位3位の割合となっている。
- ・「交通機関を利用して知らないところに外出できる」では「20歳代」から「50歳代」の割合が約10%から20%弱となっており、「20歳代」から「50歳代」除く全ての年齢階級では10%未満の割合となっている。

表 2-2-39a 年齢階級と移動能力のクロス

	総 数	で自 宅内 の移 動が でき ない	で自 宅内 の移 動は でき る	は自 宅周 辺の 歩行 はでき る	き る や最 寄 り の 外 出 で 停 ま る	所 に 交 通 機 関 を 利 用 し て 出 て こ る	に し 交 通 機 関 を 利 用 し て 出 て こ る こ ろ に は な い	無 回 答
総数	2744 100.0%	339 12.4%	1016 37.0%	435 15.9%	130 4.7%	428 15.6%	159 5.8%	237 8.6%
10歳未満	24 100.0%	7 29.2%	13 54.2%	3 12.5%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%
10歳代	30 100.0%	8 26.7%	12 40.0%	4 13.3%	2 6.7%	2 6.7%	2 6.7%	0 0.0%
20歳代	51 100.0%	13 25.5%	20 39.2%	1 2.0%	1 2.0%	6 11.8%	9 17.6%	1 2.0%
30歳代	76 100.0%	9 11.8%	20 26.3%	8 10.5%	3 3.9%	23 30.3%	10 13.2%	3 3.9%
40歳代	126 100.0%	4 3.2%	34 27.0%	11 8.7%	6 4.8%	34 27.0%	22 17.5%	15 11.9%
50歳代	226 100.0%	16 7.1%	70 31.0%	30 13.3%	10 4.4%	65 28.8%	24 10.6%	11 4.9%
60歳代	426 100.0%	26 6.1%	167 39.2%	70 16.4%	14 3.3%	81 19.0%	35 8.2%	33 7.7%
70歳代	724 100.0%	69 9.5%	265 36.6%	123 17.0%	51 7.0%	110 15.2%	41 5.7%	65 9.0%
80歳代	779 100.0%	104 13.4%	300 38.5%	145 18.6%	38 4.9%	95 12.2%	15 1.9%	82 10.5%
90歳以上	282 100.0%	83 29.4%	115 40.8%	40 14.2%	5 1.8%	11 3.9%	1 0.4%	27 9.6%

■ 視聴覚障害組み合わせ（等級）と移動能力のクロス

表 2-2-39b 視聴覚障害組み合わせ（等級）と移動能力のクロス

	総 数	で自 宅内 の移 動が	で自 宅内 の移 動は	は自 宅周 辺の 歩 行	きや最 寄り ま での 外 出 で 停	所し交 にて通 外知機 出つ関 でてを きい利 るる用	にし交 外て通 出知機 でら関 きなを るい利 所用	無 回 答
総数	2744 100.0%	339 12.4%	1016 37.0%	435 15.9%	130 4.7%	428 15.6%	159 5.8%	237 8.6%
視覚1・2級	860	112	375	129	37	85	47	75
聴覚1・2級	100.0%	13.0%	43.6%	15.0%	4.3%	9.9%	5.5%	8.7%
視覚1・2級	762	103	326	116	29	108	31	49
聴覚3-6級	100.0%	13.5%	42.8%	15.2%	3.8%	14.2%	4.1%	6.4%
視覚3-6級	141	11	39	20	8	40	14	9
聴覚1・2級	100.0%	7.8%	27.7%	14.2%	5.7%	28.4%	9.9%	6.4%
視覚3-6級	602	50	136	105	42	150	53	66
聴覚3-6級	100.0%	8.3%	22.6%	17.4%	7.0%	24.9%	8.8%	11.0%
無回答	379	63	140	65	14	45	14	38
	100.0%	16.6%	36.9%	17.2%	3.7%	11.9%	3.7%	10.0%

■ 視聴覚障害組み合わせ（状態）と移動能力のクロス

表 2-2-39c 視聴覚障害組み合わせ（状態）と移動能力のクロス

	総 数	で自 宅内 の移 動が	で自 宅内 の移 動は	は自 宅周 辺の 歩 行	きや最 寄り ま での 外 出 で 停	所し交 にて通 外知機 出つ関 でてを きい利 るる用	にし交 外て通 出知機 でら関 きなを るい利 所用	無 回 答
総数	2744 100.0%	339 12.4%	1016 37.0%	435 15.9%	130 4.7%	428 15.6%	159 5.8%	237 8.6%
全盲ろう	437	86	229	41	15	21	4	41
	100.0%	19.7%	52.4%	9.4%	3.4%	4.8%	0.9%	9.4%
全盲難聴	1130	200	540	152	40	94	20	84
	100.0%	17.7%	47.8%	13.5%	3.5%	8.3%	1.8%	7.4%
弱視ろう	211	9	43	30	19	54	38	18
	100.0%	4.3%	20.4%	14.2%	9.0%	25.6%	18.0%	8.5%
弱視難聴	722	24	137	165	50	218	83	45
	100.0%	3.3%	19.0%	22.9%	6.9%	30.2%	11.5%	6.2%
無回答	244	20	67	47	6	41	14	49
	100.0%	8.2%	27.5%	19.3%	2.5%	16.8%	5.7%	20.1%

11. 福祉サービス

(1) 福祉サービス利用有無

■ 年齢階級と福祉サービスの利用有無のクロス

表 2-2-47a 年齢階級と福祉サービスの利用有無のクロス

	総 数	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
総数	2744 100.0%	1346 49.1%	1301 47.4%	97 3.5%
10歳未満	24 100.0%	13 54.2%	11 45.8%	0 0.0%
10歳代	30 100.0%	18 60.0%	12 40.0%	0 0.0%
20歳代	51 100.0%	32 62.7%	19 37.3%	0 0.0%
30歳代	76 100.0%	41 53.9%	35 46.1%	0 0.0%
40歳代	126 100.0%	62 49.2%	62 49.2%	2 1.6%
50歳代	226 100.0%	126 55.8%	92 40.7%	8 3.5%
60歳代	426 100.0%	198 46.5%	213 50.0%	15 3.5%
70歳代	724 100.0%	331 45.7%	372 51.4%	21 2.9%
80歳代	779 100.0%	379 48.7%	369 47.4%	31 4.0%
90歳以上	282 100.0%	146 51.8%	116 41.1%	20 7.1%

(2) 福祉サービス利用頻度（下位項目）

■ 年齢階級と福祉サービス利用頻度のクロス

表 2-2-48a 年齢階級と福祉サービス利用頻度のクロス

総数	通訳・介助員派遣利用頻度										手話通訳者要約筆記者派遣利用頻度										移動文通同行播磨利用頻度																																							
	毎日		1週間に5-6日程度		1週間に3-4日程度		1週間に1-2日程度		2週間に1-2日程度		1ヶ月に1-2日程度		ほとんどない		まったくない		無回答		毎日		1週間に5-6日程度		1週間に3-4日程度		1週間に1-2日程度		2週間に1-2日程度		1ヶ月に1-2日程度		ほとんどない		まったくない		無回答																									
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合																										
総数	18	1.3%	14	3.2%	43	6.2%	83	5.1%	79	6.4%	665	2.2%	29	0.3%	3	0.2%	8	0.6%	21	1.6%	19	4.8%	64	7.7%	1124	3.0%	73	5.4%	20	1.5%	54	4.0%	115	8.5%	22	1.6%	84	6.2%	75	5.6%	930	1.9%																		
10歳未満	13	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																		
10歳代	18	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	16.7%	5	27.8%	8	44.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	1	5.6%	2	11.1%	2	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%																
20歳代	32	100.0%	0	0.0%	1	3.1%	2	6.3%	1	3.1%	3	9.4%	15	46.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	9.4%	3	9.4%	2	6.3%	1	3.1%	2	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%														
30歳代	41	100.0%	2	4.9%	0	0.0%	3	7.3%	2	4.9%	1	2.4%	24	58.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	5	12.2%	8	19.5%	27	65.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%														
40歳代	62	100.0%	1	1.6%	2	3.2%	5	8.1%	6	9.7%	3	4.8%	27	43.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.2%	3	4.8%	5	8.1%	11	17.7%	40	64.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%												
50歳代	125	100.0%	2	1.6%	4	3.2%	5	4.0%	19	15.2%	8	6.3%	49	38.9%	3	2.4%	0	0.0%	1	0.8%	4	3.2%	4	3.2%	15	11.9%	10	7.9%	91	72.2%	4	3.2%	4	3.2%	5	4.0%	12	9.6%	1	0.8%	7	5.6%	11	8.8%	2	1.6%	82	65.6%	2	1.6%	161	128.8%	3	2.4%	152	121.6%	3	2.4%	152	121.6%
60歳代	198	100.0%	2	1.0%	2	1.0%	8	4.0%	14	7.1%	15	7.6%	127	64.1%	1	0.5%	2	1.0%	0	0.0%	6	3.0%	6	3.0%	20	10.1%	8	4.0%	76	38.4%	3	1.5%	1	0.5%	1	0.5%	5	2.5%	11	5.6%	15	7.6%	7	3.5%	128	64.6%	2	1.0%	198	100.0%										
70歳代	331	100.0%	6	1.8%	3	0.9%	14	4.2%	18	5.4%	9	2.7%	245	74.0%	8	2.4%	1	0.3%	3	0.9%	7	2.1%	6	1.8%	11	3.3%	19	5.7%	274	82.8%	9	2.7%	5	1.5%	14	4.2%	37	11.2%	26	7.9%	23	7.0%	207	62.5%	8	2.4%	331	100.0%												
80歳代	379	100.0%	3	0.8%	1	0.3%	6	1.6%	3	0.8%	3	0.8%	333	87.9%	7	1.8%	0	0.0%	3	0.8%	1	0.3%	2	0.5%	5	1.3%	12	3.2%	349	92.1%	7	1.8%	7	1.8%	9	2.4%	19	5.0%	4	1.1%	18	4.7%	20	5.3%	288	77.0%	7	1.8%	379	100.0%										
90歳以上	146	100.0%	1	0.7%	1	0.7%	1	0.7%	3	2.1%	0	0.0%	128	87.7%	8	5.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.1%	138	94.5%	7	4.8%	2	1.4%	3	2.1%	4	2.7%	5	3.4%	1	0.7%	122	83.6%	7	4.8%	146	100.0%												

	ホームヘルパー派遣利用頻度						その他の福祉サービス利用頻度											
	毎日	1週間 に3-5日	1週間 に4-6日	1週間 に1-2日	1ヶ月 に1-2日程	ほとんど ない	まったく ない	無回答	毎日	1週間 に3-5日	1週間 に4-6日	1週間 に1-2日	1ヶ月 に1-2日程	ほとんど ない	まったく ない	無回答		
総数	65	50	121	261	17	20	46	741	25	174	27	104	188	13	49	49	690	52
10歳未満	4.8%	3.7%	9.0%	19.4%	1.3%	1.5%	3.4%	55.1%	1.9%	12.9%	2.0%	7.7%	14.0%	1.0%	3.6%	3.6%	51.3%	3.9%
10歳代	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	76.9%	0.0%	7.7%	7.7%	15.4%	0.0%	7.7%	15.4%	38.5%	0.0%	
20歳代	0.0%	0.0%	11.1%	5.6%	0.0%	11.1%	5.6%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	22.2%	5.6%	11.1%	0.0%	44.4%	0.0%
30歳代	3.1%	9.4%	0.0%	9.4%	0.0%	6.3%	0.0%	71.9%	0.0%	9.4%	6.3%	3.1%	3.1%	0.0%	21.9%	3.1%	53.1%	0.0%
40歳代	7.3%	2.4%	4.9%	7.3%	0.0%	0.0%	4.9%	73.2%	0.0%	12.2%	2.4%	9.8%	4.9%	2.4%	4.9%	4.9%	53.7%	4.9%
50歳代	6.5%	4.8%	6.5%	11.3%	1.6%	0.0%	3.2%	66.1%	0.0%	3.2%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	1.6%	3.2%	79.0%	3.2%
60歳代	1.6%	2.4%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	2.4%	69.8%	1.6%	10.3%	0.0%	4.0%	4.8%	0.0%	2.4%	3.2%	73.8%	1.6%
70歳代	1.0%	5.6%	7.1%	21.2%	1.0%	2.0%	2.5%	58.6%	1.0%	11.1%	1.0%	5.1%	9.1%	0.5%	2.0%	3.5%	64.1%	3.5%
80歳代	5.1%	3.0%	10.9%	23.9%	1.8%	0.9%	5.4%	46.8%	2.1%	8.8%	1.2%	7.3%	16.3%	1.5%	3.9%	4.8%	52.9%	3.3%
90歳以上	6.9%	3.7%	10.0%	22.7%	1.8%	1.8%	3.7%	47.5%	1.8%	14.5%	3.2%	10.6%	19.0%	1.1%	3.7%	3.4%	40.6%	4.0%
	9	4	11	25	1	2	1	86	7	44	2	16	26	1	2	2	40	13
	6.2%	2.7%	7.5%	17.1%	-0.7%	1.4%	0.7%	58.9%	4.8%	30.1%	1.4%	11.0%	17.8%	0.7%	1.4%	1.4%	27.4%	8.9%

(3) 福祉サービス不利用理由（複数回答）

■ 年齢階級別と福祉サービス不利用理由のクロス

福祉サービス不利用理由では、「家族がサポート」の割合が最も高く 60.0%

- ・「知らない」では、「50歳代」の割合が最も高く 19.1%となっており、次いで、「30歳代」15.2%、「60歳代」13.4%となっている。
- ・「自分でできる」では、「40歳代」の割合が最も高く 35.5%となっており、「40歳代」を頂点に「10歳代」、「90歳以上」になるにつれて割合が低くなっている。
- ・「利用方法がわからない」では、「10歳未満」から「40歳代」の割合が約 25%から約 30%となっており、「50歳代」と「60歳代」の約 15%より年齢階級が高くなるにつれて割合が低くなっている。

表 2-2-49a 年齢階級別と福祉サービス不利用理由のクロス

	回答者総数	知らない	自分でできる	家族がサポート	利用方法がわからない	手続きが面倒	その他
回答者総数	1224	140 11.4%	264 21.6%	735 60.0%	189 15.4%	105 8.6%	230 18.8%
10歳未満	11	2 18.2%	1 9.1%	10 90.9%	3 27.3%	2 18.2%	1 9.1%
10歳代	12	0 0.0%	2 16.7%	11 91.7%	3 25.0%	0 0.0%	1 8.3%
20歳代	19	2 10.5%	6 31.6%	14 73.7%	5 26.3%	3 15.8%	7 36.8%
30歳代	33	5 15.2%	5 15.2%	19 57.6%	8 24.2%	6 18.2%	9 27.3%
40歳代	62	8 12.9%	22 35.5%	30 48.4%	19 30.6%	6 9.7%	9 14.5%
50歳代	89	17 19.1%	28 31.5%	39 43.8%	14 15.7%	9 10.1%	14 15.7%
60歳代	201	27 13.4%	49 24.4%	114 56.7%	32 15.9%	15 7.5%	27 13.4%
70歳代	342	31 9.1%	81 23.7%	218 63.7%	51 14.9%	28 8.2%	54 15.8%
80歳代	345	37 10.7%	59 17.1%	211 61.2%	45 13.0%	31 9.0%	78 22.6%
90歳以上	110	11 10.0%	11 10.0%	69 62.7%	9 8.2%	5 4.5%	30 27.3%

12. 日中活動の状況と希望

(1) 日中の過ごし方（複数回答）

■ 年齢階級別と日中の過ごし方のクロス

- ・日中の過ごし方では、「家庭内」の割合が最も高く67.7%となっており、「就労（正社員）」と「就労（正社員以外）」は約2%となっている。
- ・「家庭内」では、「10歳未満」から「50歳代」は約20%から約60%弱の割合となっており、「60歳代」から「80歳代」は約70%から75%となっている。
- ・「施設内」では、「10歳代」を除く全ての年齢階級の割合は約10%から約35%となっている。
- ・「就労（正社員）」では「20歳代」4.0%、「30歳代」15.8%、「40歳代」11.2%、「50歳代」8.6%となっている。
- ・「就労（正社員）」では「20歳代」14.0%、「30歳代」10.5%、「40歳代」9.6%、「50歳代」6.8%となっている。

表 2-2-56a 年齢階級別と日中の過ごし方のクロス

	回答者総数	家庭内	家事育児介護	施設内	障害者通所サービス	介護保険通所サービス	デイケア	学校	保育園幼稚園	障害児通園施設	リハビリテーション	就労（正職員）	就労（正職員以外）	自営業	社会活動	その他
回答者総数	2650	1795 67.7%	308 11.6%	442 16.7%	187 7.1%	314 11.8%	78 2.9%	51 1.9%	2 0.1%	6 0.2%	137 5.2%	55 2.1%	59 2.2%	99 3.7%	77 2.9%	193 7.3%
10歳未満	24	13 54.2%	2 8.3%	3 12.5%	3 12.5%	1 4.2%	1 4.2%	17 70.8%	1 4.2%	4 16.7%	10 41.7%	1 4.2%	1 4.2%	1 4.2%	1 4.2%	2 8.3%
10歳代	30	7 23.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	28 93.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20歳代	50	18 36.0%	3 6.0%	6 12.0%	21 42.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 10.0%	2 4.0%	7 14.0%	1 2.0%	3 6.0%	4 8.0%
30歳代	76	27 35.5%	8 10.5%	8 10.5%	19 25.0%	2 2.6%	1 1.3%	1 1.3%	0 0.0%	1 1.3%	4 5.3%	12 15.8%	8 10.5%	3 3.9%	3 3.9%	6 7.9%
40歳代	125	71 56.8%	12 9.6%	13 10.4%	20 16.0%	2 1.6%	4 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 4.0%	14 11.2%	12 9.6%	6 4.8%	5 4.0%	19 15.2%
50歳代	222	127 57.2%	43 19.4%	26 11.7%	24 10.8%	2 0.9%	3 1.4%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	7 3.2%	19 8.6%	15 6.8%	20 9.0%	21 9.5%	21 9.5%
60歳代	407	285 70.0%	71 17.4%	52 12.8%	40 9.8%	24 5.9%	6 1.5%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	21 5.2%	6 1.5%	10 2.5%	22 5.4%	19 4.7%	35 8.6%
70歳代	697	534 76.6%	103 14.8%	94 13.5%	37 5.3%	93 13.3%	15 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	29 4.2%	1 0.1%	6 0.9%	26 3.7%	21 3.0%	50 7.2%
80歳代	745	551 74.0%	56 7.5%	144 19.3%	16 2.1%	135 18.1%	32 4.3%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	35 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	18 2.4%	3 0.4%	38 5.1%
90歳以上	274	162 59.1%	10 3.6%	96 35.0%	5 1.8%	55 20.1%	16 5.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	18 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	1 0.4%	18 6.6%